

# 東高通信

令和4年度 6月号

日	曜	学校行事等	学年・進路・生徒指導	生徒会・部活動関係
7	火	内科検診②		
8	水	SC	3学年PTA 県北地区自転車一斉指導	
9	木	学校訪問	↓	
10	金	教育実習2・3週間終了		弓道地区総体(~11日)
11	土			ソフトボール地区総体(~12日) 美術部デッサン講習会 サッカーF1リーグ テニス地区総体、ハンド地区総体(~13日)
12	日			柔道全日本ジュニア県予選(相馬)
13	月			卓球地区総体(~14日)
14	火	内科検診③	2学年PTA	陸上IH東北大会(~17日)
15	水	SC		バドミントン地区総体(~16日)
16	木			吹奏楽県音楽祭
17	金	教育実習4週間終了	小論文模試(3年)	合唱県音楽祭
18	土			サッカーF3リーグ、剣道地区総体、 柔道地区総体(~19日) バレー地区総体(~20日)
19	日			
20	月	職員会議⑤		
21	火			
22	水	SC	1学年PTA	
23	木	学校評議員会①		卓球東北高校選手権(~26日、いわき)
24	金			柔道東北大会(~26日、秋田市)
25	土	創立記念日、土曜学習会		陸上地区総体(~26日) サッカーF1リーグ・F3リーグ 県北地区演劇コンクール(テルサ)
26	日			
27	月	期末考査①		
28	火	期末考査②		
29	水	期末考査③ 前期学校保健委員会		
30	木	期末考査④、壮行会		
31	火	内科検診②		

敵を知り、己を知ること

小野 桃子(国語)

皆さんは、濱井正吾さんという人を知っていますか?「9浪はまい」の名でYouTubeにも出ているので、動画で見たことがある人もいるかもしれませんね。この人は、その名のとおり、9年浪人生活を送っています。(そのうち数年は、大学に在学しながら、または昼間会社員として働きながらの勉強なので、単なる浪人生活とは異なりますが。)そして、浪人生活の経験を活かしながら、受験生にアドバイスを送っているのです。

この人の言葉で「期限を守れない人は成績が伸びない」というものがあります。なぜそう言えるのか。期限を守れない人には2種類あるのだそうです。1つは、先の見通しが甘い人。「まだ間に合うだろう」「後でやればいいや」と物事を甘くとらえ、面倒なことを後に回してしまいます。もう1つは、物事を厳しく捉えすぎてしまう人。「こんな難しいことできるはずがない」とあきらめたり、不安材料と向き合うことを避けたりして、先延ばしにしてしまうのだそうです。

この2つのタイプに共通しているのは、「現状を正確に捉えていない」という点です。ポジティブに捉えるか、ネガティブに捉えるかという違いはありますが、どちらも自分の状況を正しく理解していないのです。その結果、勉強においても苦手な教科や分野に手がつけられなかったり、優先順位を間違えた勉強をしてしまったりします。そして成績も伸びないということになりがちです。

皆さんはどうでしょう。様々に課される提出物を、計画的に期限を守って提出できていますか?中には、いつ、何を出せば良いか把握していないという人もいるかもしれませんね。自分がおかれている状況を正しく理解して、優先順位をつけて行動することが、3年生となった今、たいへん重要になってきます。スマホよりも勉強を優先する、というだけでなく、勉強するにしても、どの教科の、どの分野を、どのくらい時間をかけて勉強すべきかということも、よく考え、正しく実行していかなければなりません。

模擬試験の結果を、単に判定が良かった、悪くついただけで終わらせていませんか?模擬試験は、皆さんの現状を正しく把握するためのツールです。自分がどのような勉強をどれだけしたか、その結果どのくらいの点数になったか、志望校までどのくらい距離があるのか、よく検証してください。孫子は「彼を知り、己を知らば百戦殆(あやふ)からず」と言いました。敵を知り、そして自分の状況を正しく把握することで、自分の進路を賭けた戦いに勝利することはできるはずですよ。

2か月過ぎて思うこと・・・

郡司 仁美(書道)

私の義理の弟は東高のOBです。その弟夫婦に娘が生まれた時、名前に『桜』という字を付けました。命名の理由を聞いたところ、東高の校歌の歌詞「桜木」から一字いただいたと話していました。彼は、高校生活はとても充実していたそうで、運動部との両立は大変なこともあったけど、とにかくとても楽しかったと笑顔で思い出話をしてくれました。

そんな彼の母校東高に私が着任して2か月が経ちました。2か月過ぎてみて感じていることを書いてみたいと思います。

まず、東高生は気持ちの良い挨拶ができます。素晴らしいと思います。次に校舎が綺麗です。環境は大切です。そして生徒の皆さんはONとOFFの切り替えができ、まっすぐなやる気を感じます。学習だけでなく部活動も一生懸命頑張っていますね。『文武両道』の学校だから・・・ある意味当たり前かな。

現在、面接週間ですが、クラスの生徒と話しをしてみると、『文武両道』って難しいな、大変だな、と感じている人が多いようです。『文武両道』の学校と分かって入学したものの、実際やってみたらとても辛い、「文」も「武」も頑張ることは体力や気力も必要だと感じたようです。なかには、学習方法そのものを見直したり、早起きして朝に学習時間を設定したりと、どうしたら『文武両道』を達成できるか考え工夫している人がいることも分かりました。まずは、そういうことを経験できたことこそが、皆さんにとっては良い学びにつながっているのだと私は思います。

実際、「武」を極めることは、簡単なことではありません。私自身、書の道に携わっていますが、書を極めたと思えたことなどは一度もなく、今も日々学び続けています。極めるためには、多くの時間をかけて技を習得し他人よりも努力をすること、技にとどまらず美の真贋を見極める目を鍛えること、そしてその「武」を愛することが必要なのではないのでしょうか。

書は、中国・日本ともに、文字という記号を通して作者の心や魂を表現できる、最もシンプルな芸術です。紙面の文字の均衡さや躍動する線質、文字の周囲の余白の美、シンプルだからこそ美しく強い芸術だと思っています。それ故に、高校時代からずっと魅了され、現在まで続けてくることができたのかもしれない。

皆さんも、高校生という感性豊かな時期に「武」を極める経験をし、東高生でよかったと感じてこの学校を卒業してほしいです。そして大人になった時、私の義理の弟のように目をキラキラさせて高校時代の思い出を語れるような、東高での時間を過ごしてほしいと願っています。

Learning a Language is like Playing a Sport

Jaci Machida(ALT)

Do you like sports? Do you like learning a new skill, then practicing that skill, and doing that skill successfully at tournaments after all your hard work? If you play sports, I think you do. I believe that everyone likes being successful. However, as most of us know, being successful in sports is not that easy.

Language learning is the same. It's not easy to acquire a second language. In fact, it's very difficult. We can spend years learning a language only to be somewhat decent at it. But some people succeed and become excellent second language users. Like Olympic athletes, who spend their entire lives working hard to reach the Olympics, which is extremely difficult, language learners must work hard too. (*Okay, maybe not as hard as an Olympic athlete. But still! You should be doing your best!*) But what does this mean? How are sports and language learning related?

Sports and language learning are similar in various ways. In my opinion, the most important similarity is **practice**. You practice your club activities almost every day to improve your skills. Why? Because if you don't practice, you won't improve, or you might even lose your skills. It is the same for language learning. If you don't practice the different language skills, you will never improve, or gradually you will lose the skills. For example, seven years ago, I could speak some Korean. After not practicing and using it for years, I can no longer speak Korean.

Also, there are many **different skills** to learn, and being good at one skill does not mean you will be good at another skill. For instance, being good at receiving in volleyball does not mean you will be good at spiking. Receiving and spiking are skills you need to practice separately to be able to use them in a game. As for language learning, being good at listening does not mean you are also good at speaking. When you are listening, you are receiving language. On the other hand, when speaking, you are producing language. While listening and speaking are connected skills, like receiving and spiking, you must practice both to use in a real-life conversation. This means you need to become an 'all-rounder.'

Finally, becoming good at a sport or a language **takes a lot of time**. Some people progress faster or slower than others, but everyone has to put in a lot of time and effort to succeed. It takes years to become good at a sport, even more, if you want to be a professional. Growing up, Ohtani Shohei ate, slept, and breathed baseball. Now he's one of the best baseball players in the world, and it took him over 20 years to achieve this. (*That's a long time! And guess what? Your English teachers are like Ohtani Shohei! It took them years to become good at English.*)

So, to become better at a language, you need to practice the different skills and put in the time and effort. You don't need to dedicate your life to learning a language like an Olympian, although it wouldn't hurt. So, what do you say? Are you ready to learn a language the same way you play a sport?